

## 堤防陥没箇所の復旧工事が完了しました。

平成21年3月5日（木）に徳島県三好市三野町（吉野川左岸62k/100付近）において、堤防陥没が発見され、周辺住民の安全対策を実施後、原因の特定のため、堤防開削調査等を行い、陥没の原因を「雨水の浸透により、混入土の中にあった空隙箇所に、堤防の土が流出したことによるもの」と判断したうえで、木屑、金属屑等を含む混入土を4月7日（火）までに撤去したところ です。

引き続き、4月11日からは、堤防の原形復旧工事に着手していましたが、4月28日（火）に完了しましたのでお知らせします。

なお、当該箇所とともに他の堤防区間においては、堤防巡視による安全の確認を引き続き行うとともに、今後、築堤を行う箇所についても事前調査を十分に行うこととします。

平成21年 4月 28日

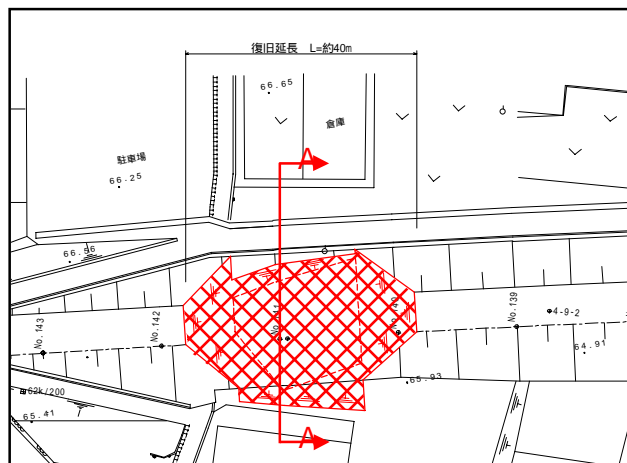
国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

### 【問い合わせ先】

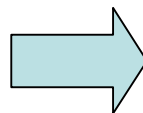
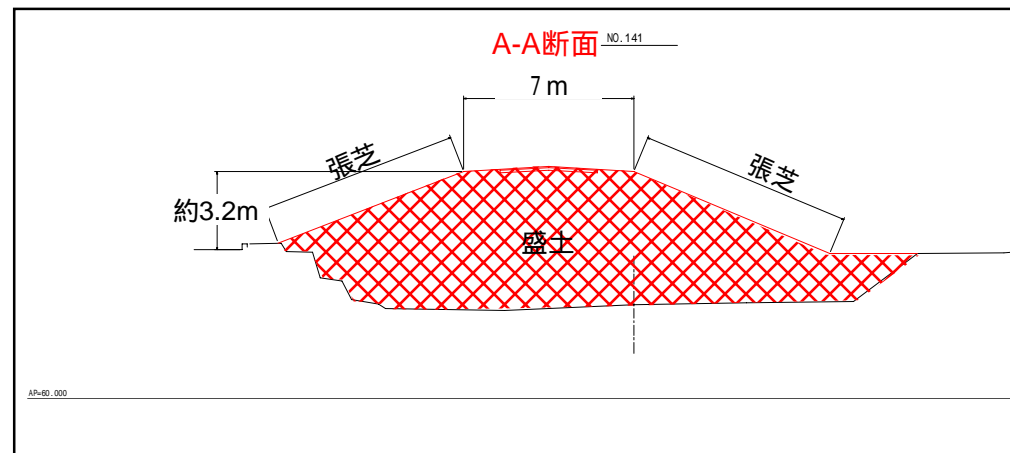
国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所  
工務第一課長 安永 一夫（内線311）  
TEL：088-654-2211（代）

堤防の原形復旧工事に4月11日より着手。復旧工事は、4月28日に完了。

## 平面図



## 標準断面図



徳島県三好市三野町の吉野川左岸62k/100付近の芝生堤防において、3月5日に堤防陥没を発見。

位置図



平面図

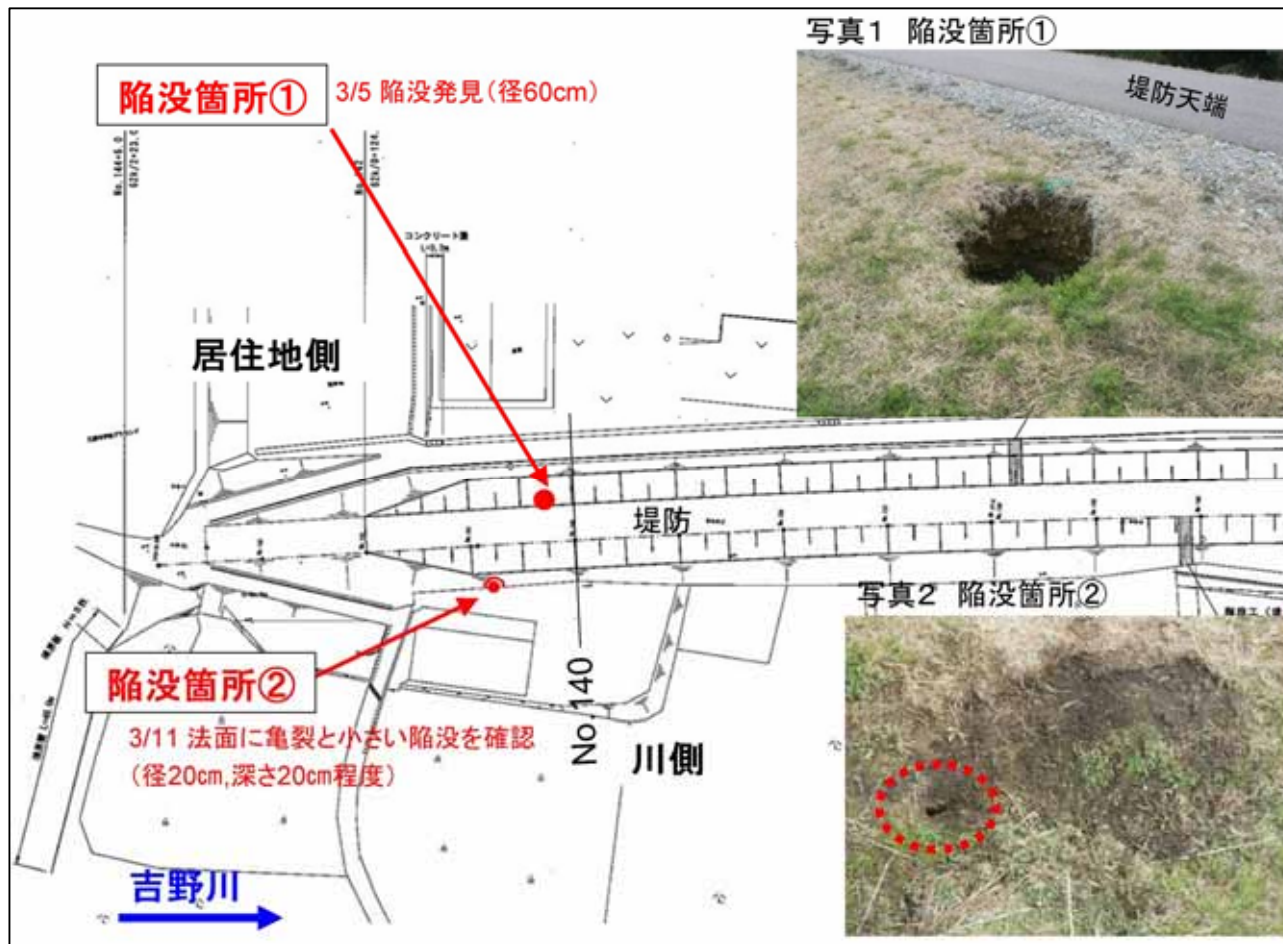


写真1 陥没箇所①



写真2 陥没箇所②



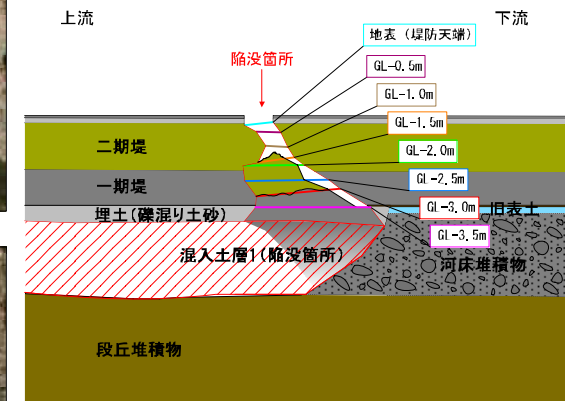
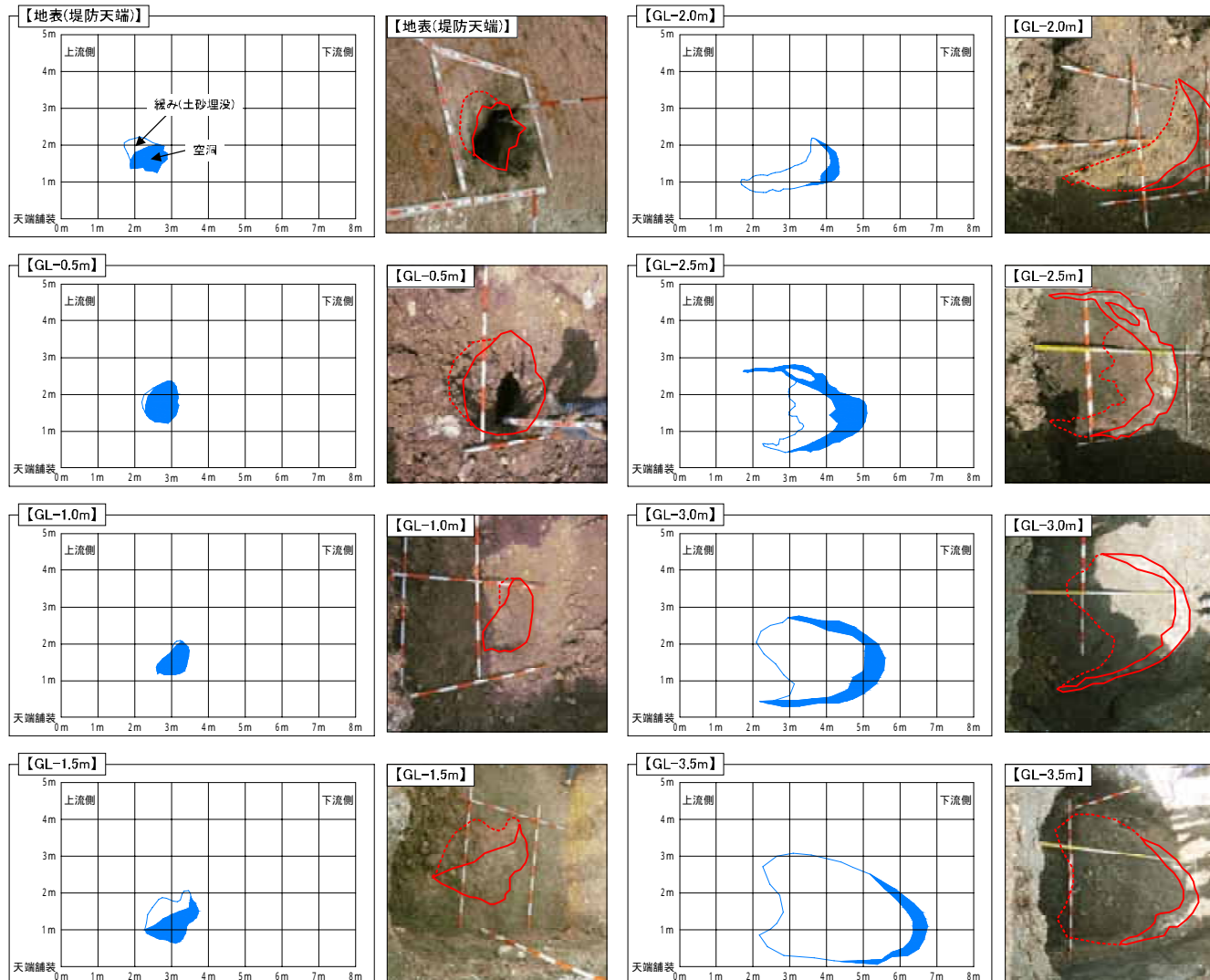
箇所図



# 陥没箇所 の空洞量調査結果について

## 参考資料 2

陥没 箇所の空洞部に、セメント等を流し込み硬化させた後、掘削し分布調査をした結果、空洞は、天端直径60cm、斜め方向(俯角)35度程度で下流方向に約5m伸びており、空洞量は約3m<sup>3</sup>。

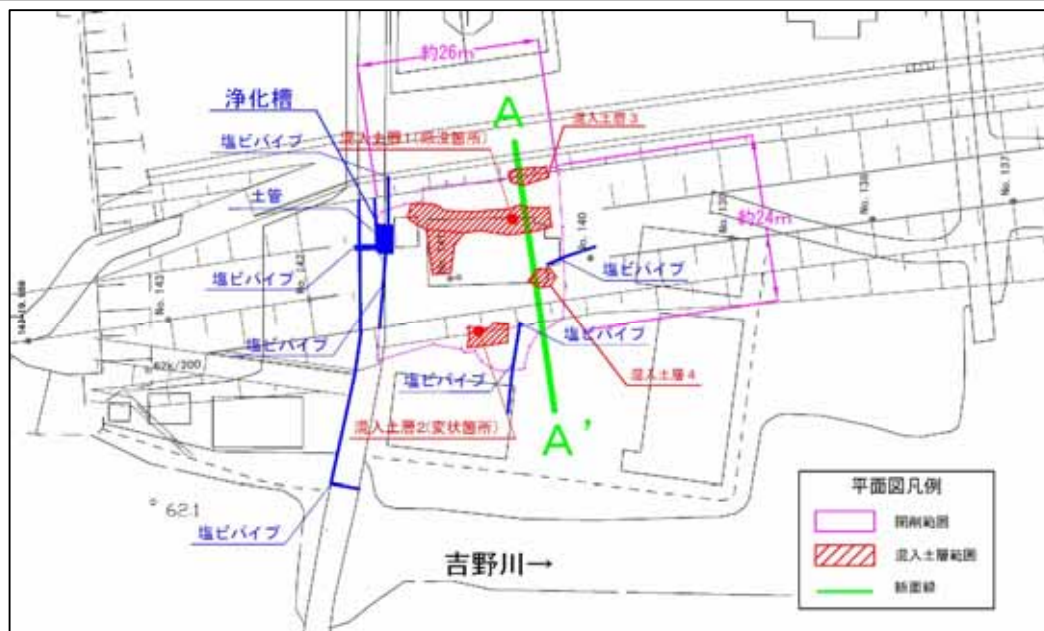


堤防縦断面図

# 基礎地盤開削調査結果について(開削平面図)

参考資料3

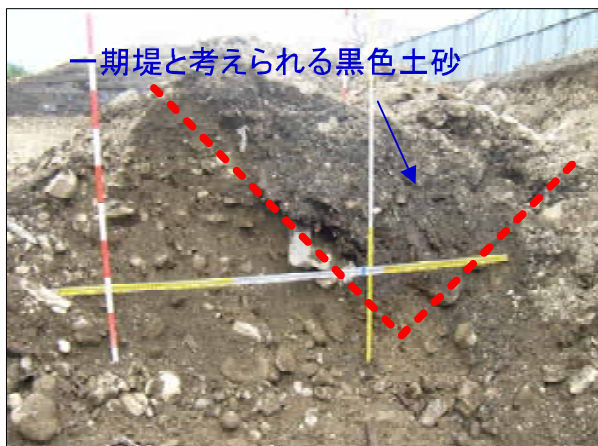
陥没箇所周辺の地下部分(昭和40年代後半の宅地造成時の地盤面より更に約0.5~3m地下)において、木屑、金属屑、コンクリート殻、塩化ビニールパイプなどを確認。(4月7日撤去完了)



【浄化槽】



【混入土層1(陥没箇所)】



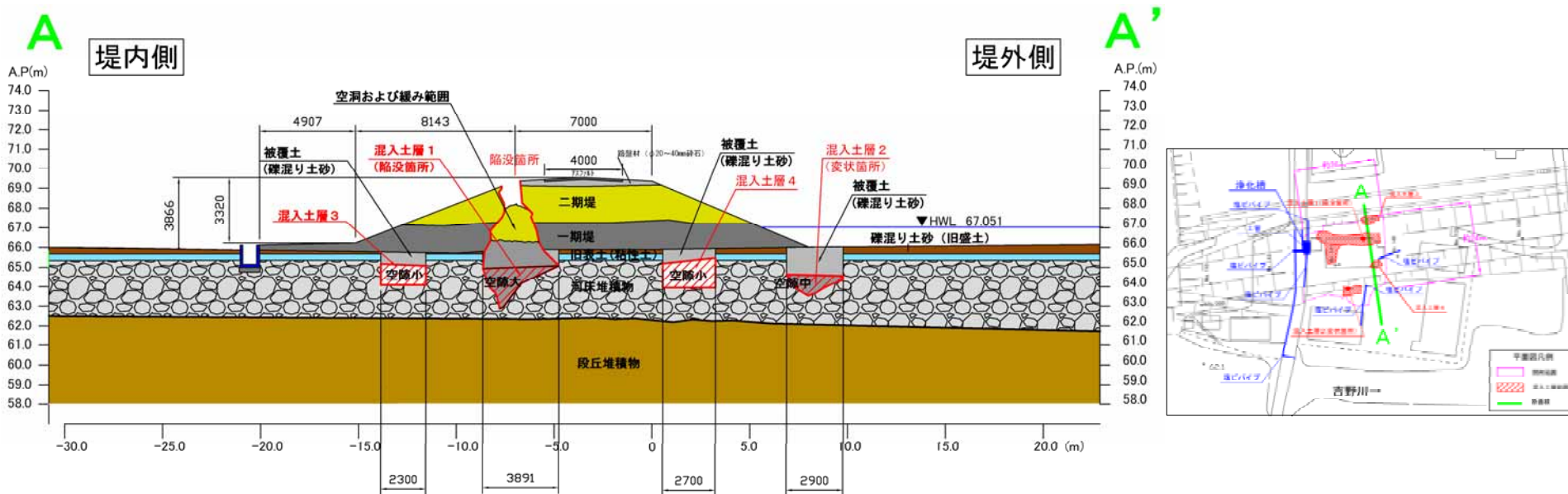
【混入土層2(変状箇所)】



【開削箇所西側の道路下の埋設管】



陥没の原因としては、経年的な雨水浸透により、陥没箇所直下の木屑、金属屑等含む混入土の空隙箇所に、堤防の土が流出したことによるものと判断。



【混入土層1(陥没箇所)】

角材、木片が多量に混入。  
他にコンクリート瓦礫、断熱材、アルミレール、金属鍋等が混入。



【混入土層2(変状箇所)】

石膏ボード、レカブロックを多量に混入。  
他に畳、タイル、塩化ビニールパイプ、工事看板、コンクリート等が混入。



【混入土層3】

スレート片、石膏ボードが多量に混入。  
他に人工芝、銅板、ノコギリ刃、スプレー缶、クギ等が混入。



【混入土層4】

丸太が多量に混入。  
他に塩化ビニールパイプ、水道用塩化ビニールホース、鉄筋φ20mm等が混入。